

様式例 10 指定管理者制度活用事業 評価シート

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市緑化センター	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 株式会社 石勝エクステリア ・代表者名 代表取締役社長 細井 俊宏 ・住所 東京都世田谷区玉川2丁目2番1号	評価者	みどりの企画管理課長
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課

2. 事業実績

利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化相談は総件数908件(平成26年度:862件)、内容は栽培管理、病害虫についてであった。 ・講習会は合計23講座行い、受講者数は493名(参加率69%)であった。(平成26年度:31講座、受講者数1,174人) ・展示会は合計21回(281日)開催した。 ・依頼を受けた講習会を1件、他講師の紹介を2件実施 ・来園者数調査を7、3月の平日と休日にそれぞれ1日ずつ実施 7月15日(水)202人、7月18日(土)238人、3月23日(水)1,422人、3月21日(祝)523人 ・緑化センターまつりを11月14日に実施し、2,422人の来場者を集めた。 																														
収支実績	<table border="0"> <tr> <td colspan="2"><収入></td> <td colspan="2"><支出></td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>43,350,000円</td> <td>維持管理運営費</td> <td>38,352,536円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>394,400円</td> <td>自主事業経費</td> <td>956,619円</td> </tr> <tr> <td>自主事業収入</td> <td>1,137,780円</td> <td>計</td> <td>39,309,155円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>44,882,180円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td colspan="2"><収支差額></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>5,573,025円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>			<収入>		<支出>		指定管理料	43,350,000円	維持管理運営費	38,352,536円	その他収入	394,400円	自主事業経費	956,619円	自主事業収入	1,137,780円	計	39,309,155円	計	44,882,180円			<収支差額>					5,573,025円		
<収入>		<支出>																													
指定管理料	43,350,000円	維持管理運営費	38,352,536円																												
その他収入	394,400円	自主事業経費	956,619円																												
自主事業収入	1,137,780円	計	39,309,155円																												
計	44,882,180円																														
<収支差額>																															
	5,573,025円																														
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回緑化センターまつりでは「緑と地域のコラボレーション」をテーマにして企画・運営を行い、悪天候にも関わらず延べ2,422人の来場者を集めた。多摩区の地域団体を中心に、参加13団体と連携し、各種販売やフリーマーケット、手作り市などを実施した。 ・引継ぎ図書等を調査し、1,496冊の蔵書リストを作成した。NHKの趣味の園芸、野菜の時間、児童向け図書等を新たに103冊購入し蔵書の充実を行うなど図書環境、閲覧環境の向上に努めた。 ・市政だよりや多摩区生涯学習情報、環境情報等の市の広報を活用するとともに、ホームページを開設し講習会のページを作成するなど、緑化センターの周知・広報を行った。 																														

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	1 利用者満足度調査を適切に実施しているか	12	3	7.2
		2 調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは、講習会で393件、展示会で241件、ご意見ポストで17件の意見が寄せられた。これらの意見・要望については、「花の名前だけでなく育て方や詳しい説明が書いてありとても感心した」や「いつもきれいにできていてありがとう」等、概ね好意的な意見であった。 ・アンケートや利用者からの意見において要望のあった「クリスマスリースづくり」や「インテリアグリーン展」などを実施するなど柔軟に対応した。 			
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	3 計画に基づく適正な支出が行われているか	8	3	4.8
		4 支出に見合う効果は得られているか			
		5 効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか			
	適切な金銭管理・会計手続	6 収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	6	3	3.6
7 事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
	(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・支出について、剪定枝葉の一部を機械裁断し、堆肥化したことにより廃棄物処理及び堆肥の費用削減に努めた。 ・収入について、自主事業で計画以上の収入となった。 			

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	8 提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	3	4.8
		9 サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		10 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	11 実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	4	4.8
		12 業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		13 業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	14 利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	4	6.4
		15 意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		16 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	提案事業・自主事業の実施状況	17 施設利用者へのサービス向上につながる提案事業・自主事業を実施しているか	10	4	8
18 施設利用者のニーズを踏まえた提案事業・自主事業を実施しているか					
(評価の理由)					
<p>・講習会は定員を超えた申込みが7講習あった。特に「多肉植物で作るコンテナガーデン」は定員30人のところ応募が60件以上になったが、落選者に別途連絡を取り、同日午前中に同講習を実施するなど柔軟に対応した。一方で、参加者が定員の半数に満たない講習が6回あったため、講習内容や周知方法などを今後検討する必要がある。</p> <p>・展示会は植物の開花時期に合わせてサクラソウ等の展示や、多摩盆栽協会による山野草等の展示を開催した。利用者の要望により、当初計画のなかったインテリアグリーン展を開催した。また、展示の空白期間を減らすため、次展示との期間を勘案し期間の延長を行い、臨時で展示会(5回)を開催した。</p> <p>・環境局の王禅寺余熱利用施設のリニューアルオープンに合わせて、入口プランターなどを提供し、景観向上とにぎわい創出に貢献するなど施設間連携を行った。</p> <p>・緑化センターまつりは準備会議を計5回開催し、参加団体の様々な意見を集約し、実施計画を取りまとめ、地域振興、施設のPR、緑化の保全の周知など、大きな役割を果たしている。当日は午前中から降雨により、例年に比べると少ないものの2,422人の来園者があった。</p> <p>・9月に、管理状況等について苦言を呈する内容の市長の手紙を受領した。主な原因としては、上半期に欠員が出たことによる、一人当たりの業務量の増加であった。所管課から説明を受けた2日後には経営トップをはじめとする会社本部の社員が現場視察をし、早急に問題把握と解決に動き、会社本部によるバックアップを受けて適切に対処した。</p>					
分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適正な人員配置	19 必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	2	1.6
	連絡・連携体制	20 定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	2	3	1.2
	再委託管理	21 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	2	3	1.2
	担当者のスキルアップ	22 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	2	3	1.2
	安全・安心への取組	23 事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	3	2.4
	コンプライアンス	24 個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	2	3	1.2
(評価の理由)					
<p>・上半期に人員が欠員となってしまい、それが原因で市長の手紙での指摘に繋がった。ただし、欠員になってからは採用の募集を行い、下半期に適切な人員を確保し、改善を図った。</p> <p>・所管課との連絡・連携については、月例報告時に打ち合わせを行うとともに、随時連絡を行っている。</p> <p>・講習会の応募者などの個人情報はPCでの全情報の管理は行わず、施錠した保管庫に申込書などを保管し、情報の取得の段階から、その利用、保管、廃棄にいたるまで適切に管理されている。</p>					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	25 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	4	4.8
	樹木、草花及び種苗の管理	26 樹木、草花及び種苗を適正に管理しているか また、収集、保存、展示に努めているか	6	4	4.8
	施設更新計画	27 長期保全更新計画を立て、市へ報告しているか。	2	3	1.2
	清掃業務	28 施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	4	3	2.4
	警備業務	29 施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	4	3	2.4
	外構・植栽管理	30 外構・植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか	2	3	1.2
	備品管理	31 設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	2	3	1.2
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業技術支援センターの大温室の撤去により、パニラ他5鉢を譲り受け、多様な展示に努めた。 ・花菖蒲育成池の改修や、トンネルスロープの改修など植物の育成の環境改善や園路の環境改善を図った。 ・管理事務所近くに災害救援自動販売機を設置し、来園者の利便性を図るとともに災害時への対策を行った。 ・前管理者から引継いだ図書等を調査し、1,496冊の確認を行い蔵書全てに通し番号を付して蔵書リストを作成した。また、新たに103冊購入し蔵書の充実を行った。 ・樹木、草花及び種苗の管理に関しては、芝の貼替、刈込や除草など仕様書以上の水準で管理を行った。 ・天候の急激な変化にも対応するため、機器任せにせず、職員において温度管理を実施している。 ・園内の日常清掃等は仕様書に沿って適切に実施されており、温室などの一部については仕様書以上の頻度で実施されている。 					

4. 総合評価

評価点合計	66.4	評価ランク	C
-------	------	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市内唯一の都市緑化植物園として、都市緑化の推進を図るという事業目的を達成するために、芝刈りや除草など仕様書以上の水準で園内の維持管理を行うとともに、市の事業である「川崎市みどりのカーテン大作戦」に協力し、ゴーヤの苗を提供(2,741株)した。また、ハボタン(822株)、タマリユウ(770鉢)を配布するなど、本市の緑行政にも貢献した。

施設の維持管理については、施設の老朽化による様々な不具合が出ているが、補修、更新工事を適切に行い、施設設備の耐久年数を延ばすように対応している。

また、市民や利用者の意見を反映させるため、「緑化センターまつり準備会議」を合計5回開催し、地域の様々な参加団体と連携しながら緑化センターまつりを実施した。来年度以降のセンターまつりに反映させるため、当日にアンケートを実施した。

展示会は開催期間の期間延長や要望の多い題材を取り入れた講習会の実施等、来園者の利便性や市民サービスの向上を図った。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・ニーズを踏まえた講習会や展示会を拡充し、更なる市民サービスの向上に繋がる取組を行うことが望まれる。
- ・利用者満足度について、アンケートの収集方法や内容等を工夫し、より多様な意見を収集し、具体的な取組に反映させることが望まれる。
- ・提案書において、平成27年度に実施予定であった「サイン及び樹名版を設置してのゾーンニングの明確化」や「樹木診断による管理手法の最適化」、「生態系調査によるポテンシャルの発掘」などを今後行うとともに、平成28年度以降に実施予定の「障害者や高齢者の利用を想定したユニバーサルデザインやレイズドベッドの導入」、「みどりの日に都市緑化に特化した緑化推進イベントの実施」、「7区の花や木を紹介する新たな展示エリアの新設」、「栽培方法や開花情報等を載せた情報誌の発行」、「個人やグループを対象としたボランティア登録制度」などを適切な時期に実施するなど、より良い市民サービスに努めることを期待する。
- ・収支について、経費削減を行い一定の余剰経費を上げた際は、維持管理への充当、地域還元などを検討することを期待する。